

市民国際プラザ・ダイジェスト

第80号 (2017年8月4日発行)

一地域に飛び出す市民国際プラザ

市民国際プラザでは、自治体や地域国際化協会とNGO/NPO、企業等で連携し、先進的な活動を行っている先への訪問や情報収集をしており、ダイジェストで報告・ご紹介をしています。

○「第20回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー(多文化共生×国際協力)」開催報告!

日時: 2017年7月21日 場所: (一財)自治体国際化協会 大会議室

日本は持続可能な共生社会をつくれるか? ～世界に求められる基準「エシカル」とは～

2020東京オリンピック・パラリンピックの関連コードからSDGを具体的に!

今年度は、2020年に迎える東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、多文化共生や国際協力を「エシカル」の視点から考えるテーマでセミナーを開催しました。

エシカル(ethical)とは、「倫理的」「道徳上」という意味の形容詞で、「倫理的=環境保全や社会貢献」という意味合いで用いられる事が多く、欧米では倫理的消費(ethical consumption)や倫理的調達(ethical sourcing)が主流化されつつあります。

2012年のロンドン大会はロンドン大会組織委員会(LOCOG)が「持続可能なオリンピック」を目指して「持続可能なロンドン2012委員会」を定め、NGOや専門団体などさまざまなステークホルダーの関与を得ながら運営面はもちろん、調達においても厳密で包括的な調達基準(LOCOG Sustainable Sourcing Code)を作り、環境面、社会面に配慮した製品とサービスを用いるよう徹底したことで「最も持続可能なオリンピック」(‘ethical’ Olympics)と評価された事で話題になりました。

いまエシカル・オリンピックは国際基準化しつつあり、次回の東京大会でも調達コードが設置され、倫理的・道徳的な調達や消費が求められています。

基調講演では、東京大学 名誉教授 山本良一教授より、地球が危機的な状況下であり、環境や人権、有機農業、アニマルウェルフェア、フェアトレードと幅広いお話を頂き、続いて話題提供として東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会準備運営第一局 持続可能性部長 田中 丈夫氏より調達コードについてご講演いただきました。

ケーススタディでは、浜松市のフェアトレードタウンへの取り組みや、ハラルフードの考え方と有機野菜の基準、岡山のESDプロジェクトを取上げてそれぞれお話いただき、後半のパネルディスカッションでは、NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク 代表原田さとみ氏による進行でご登壇者をはじめ参加者も交え、活発な意見交換会となりました。



○「地域ワークショップがつむぎだすもの」～『地域の力』診断から地域づくりの取り組みへ～

日時: 2017年7月10日 主催: 一般財団法人CSOネットワーク(場所: 早稲田奉仕園 You-Iホール)

一般財団法人CSOネットワークでは、地域の課題に対して住民主体の取り組みを行っている方々を対象に、地域の力を指標化し、分野に分け、視覚的にわかりやすくし、診断を通じて新たな取り組みへのステップとすることを目的に、『『地域の力』診断ツールワークブック』を昨年4月に発行しました。

今回のセミナーでは昨年行われたこのツールを使ったワークショップの事例報告として、静岡県静岡市駿河区と静岡県牧之原市より、診断ツール活用による結果「強み・弱み」を共有し「持続性のあるまちづくり」につなげて行くことや、ワークショップをして終わりではなく、「実行計画を策定すること」などの課題が報告されました



パネルディスカッションでも自治体とどう連携するか、また企業などの外部の力を入れるべきかなど、活発な意見交換がなされましたが、この診断ツールをつかうことによって取り組みに向けての協力関係構築のきっかけになったようです。これから更に診断結果が蓄積され、地域づくりの良い参考になりそうです。

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp

○「漁村留学」「かきのわ」ー交流人口の増加、移住定住の促進で地域活性化を！

日時：2017年7月6日 場所：一般社団法人ピースポートセンターいしのまき

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市。震災前からの課題であった産業の衰退、人口減少、それに伴う人手不足などは震災以降、更に深刻化しています。

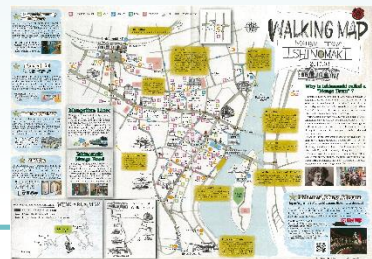
「(一社)ピースポートセンターいしのまき」(以下、ピースポートいしのまき)は、震災時に支援に入った(一社)ピースポート災害ボランティアセンターから独立し、石巻の地域課題である人口流出や少子高齢化、担い手の不足による地域産業の衰退に取り組む団体として設立されました。

支援する-支援されるという関係から、共に課題に向き合う地域の一員として、地元を本拠地とする団体として、地域住民と自治体、各NPO、ボランティア等と協働・協力し、それらの課題の解消、緩和に資する活動を展開しています。

特に、石巻圏内の漁業・水産業の担い手の創出、六次産業化を推進していくために交流人口の増加、移住定住の促進に取り組んでおり、企画運営している「かきのわ」では、石巻の漁師たちと一緒に約一年かけて牡蠣を赤ちゃんから育てる牡蠣オーナー制度や「7日間からできる漁村留学」という名の漁業体験プログラムを実施するなど、石巻漁業の活性化に向けたユニークな取り組みを実施しています。



「かきのわ」プロジェクト 「7日間からできる漁村留学」



英語版いしのまきタウンマップ

○SDGsを軸とした地方創生/地域活性化に向けた連携についてーNGO-JICAの年間テーマに

日時：2017年7月4日 2017年度第1回NGO-JICA協議会(場所：JICA本部)

JICAでは、NGOとの対話と連携を促進するため、NGO-JICA協議会を設置しています。対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するため、意見交換を行っています。協議会は年4回開催され(うち1回は地域開催)、専門的・集中的な議論が必要な場合は分科会を設置しています。



2017年度の第1回目となるNGO-JICA協議会では、今年度の年間テーマについて協議会が行われ「地方創生/地域活性化に向けた連携について」をその一つとすることが決定しました。「SDGs」をキーワードに国内外の事業などを有機的に繋げることを目的に、今後協議が展開されます。自治体、企業、大学など各アクターの強みを活かしたより良い事業形成や実施に向けての意見交換や、地域のNGOによるネットワークNGOへの期待やネットワークNGOを核としたNGOとJICAの協働体制について検討される予定です。

市民国際プラザ 平成29年度の予定(平成29年8月現在)

平成29年度地域国際化ステップアップセミナー in TOHOKU を開催します

次回のセミナーは国際協力がテーマです。詳細はHPで公開しますのでお楽しみに！

・日時：平成29年9月22日(金)午後開催予定

・開催場所：エル・ソーラ仙台 28階 大研修室(仙台市青葉区中央1丁目3-1アエル 28階・29階)

市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、
市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします♪
現在の市民国際プラザ「いいね！」数 471件



(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp